

令和6年度 学習分析事業 改善計画シート 三原市立鷺浦小学校

【別紙】

1 本年度の結果

①学力定着分析 NRT 偏差値平均(全国を50とする)

		2年	3年	4年	5年	6年	全体
国語	前年度結果		64	50	62.5	48.7	56.3
	偏差値平均						
算数	前年度結果	41.3	44	65	58	48.2	51.3
	偏差値平均						
理科	前年度結果	42	44.5	57.5	56	38.2	47.6
	偏差値平均						
全体	前年度結果				63.5	51	57.2
	偏差値平均						
全体	前年度結果				62	51.5	64
	偏差値平均						
全体	前年度結果	41.6	44.3	58.7	54.9	43.4	46.8
	偏差値平均						

②全国学力・学習状況調査 正答率平均(第6学年対象)

教科	国語	算数
前年度結果 (対県比)	71 (69)	75 (64)
本年度結果 (対県比)	62 (69)	78 (64)

2 令和5年度について

①調査から明らかになった課題

【年度当初の学力について】(NRTをうけて) ●国語・算数においては時間配分ができず、無回答の箇所があった。 ●国語では、話の内容をとらえることに課題があった。 ●算数では、たし算とひき算(3年)、わり算の性質(5年)、整数の性質、単位量当たりの大きさ(6年)に課題があった。→式の意味を理解できていない。	【年度当初の学力について】(全国学力・学習状況調査をうけて) (国語) ●条件に合わせて自分の考えを文章で書いたり、文章を読んでわかったことをまとめて書いたりすることが無回答であった。 ●漢字の書きが無回答のところがあつた。 (算数) ●図形の領域では正三角形の角の大きさが60° になることが理解できていなかった。また、底辺と高さに着目して面積を求めたり、考えを説明することができていなかった。 ●筆算で立てた商の計算の仕方を正確に説明することができていなかった。
--	---

②課題改善に向けた学校組織全体の重点目標・取組

重点目標 (何を、どの程度達成するか)	達成のための具体的取組 (どのようにして)	スケジュール	検証の指標・目標
【授業改善を通した学力・学習意欲の向上】 ○児童が主体的に学ぶ授業づくりを行う。 ○時間を意識して問題を解く力をつける。 ○内容をとらえる工夫をした国語の授業づくりを行う。 ○思考する場面を設定した算数の授業づくりを行う。	①意欲が高まることを意識した導入の工夫を行い、本時のねらいを児童と共有した授業展開を行う。 ②朝会の時間などを活用し、タイムを測定したり、制限時間を設けて練習問題を行う。また、支援が必要な児童に対しては個別に目標を設定したり、解き方を一緒に確認する対応を行う。 ③国語科においては繰り返し出てくる言葉やキーワードに着目し、内容を短い言葉でまとめたりする活動を取り入れた授業づくりを行う。 算数科においてはなぜそのような式にしたのか言葉や図を使って説明し合う時間を設定する。また、図などを使って児童と一緒に考えることで公式の意味が理解できるようにする。 ④国語・算数の授業づくりについて職員同士で相談しあう時間を設定する。	①週に1回以上 ②週に1回 ③週に1回以上 ④毎週火曜日	・児童アンケート(本時のねらいを意識して学習することができた)90パーセント以上 ・練習問題のタイム向上 ・学期末テストでクラス平均正答率を低中学年90パーセント以上、高学年80パーセント以上(国語・算数)
【学級・学習集団づくり】 ○安心して発言できる学級・学校集団作りを行う。 ○児童の自己肯定感を高める。 ○児童の情報共有を行い、組織で対応する。 ○児童との人間関係を築き、頑張りや困り感を把握する。	①発表する前に考えを書いたり整理したりする時間をとったり、ペアでの交流を取り入れたりして自分の考えをもたせるようにする。また、机間指導で良いところを認めたり、発表することができたことに対して肯定評価を行ったりして、意見を出し合うよさを感じることができるようにする。 ②お互いの良いところをカードに書いて、紹介する取組を児童会(高学年)主体で行う。 ③進会などで児童や学級の様子を共有し、学校体制で児童の対応を行う。 ④担任が児童と個別面談を行い、頑張っていることを伝えたり、困っていることを聞いたりする場を設定する。	①年間 ②年間 ③毎週水曜日 ④学期に1回以上	・Q-U2回目の学習意欲の数値(全学級で全国得点以上) ・Q-U2回目の承認得点(「運動や勉強などでクラスの人から認められることがある」の項目が3点以上) ・Q-U2回目で二次支援の児童を一次支援に向ふ

3 令和6年度について

①調査から明らかになった課題

【学力調査について】 (NRTをうけて) ●漢字の読み書きが定着していない。 ●考えや感想を書いたり、まとめて伝えあうことに課題がある。 ●グラフの読み取りに課題がある。 (全国学力・学習状況調査をうけて) ●基礎学力の定着を図ることができていない。 ●条件に合わせて自分の考えを書くことに課題がある。 ●問題場面の数量関係を捉え、立式することに課題がある。

②課題改善に向けた学校組織全体の重点取組等

重点取組(上記課題を踏まえたもの)	具体的方策(継続して取り組めるもの)	検証指標及び時期
【学力向上について】 ・まとまった文章を書くこと ・漢字の読み書きの定着 ・情報と情報との関連付け	①全学年全教科等でのR80の実施(条件に合わせて書く) ②毎週金曜日に全校ドリルタイムを実施し、課題がある領域などの練習問題を行って学力補充を行う。 ③絵や図を使って視覚支援を行い、問題場面の数量関係を正確に把握することができるようにする。	○アシストシート等の記述問題を正答する児童が80%以上 ○各単元末テストの平均期待値を上回る児童を80%以上
【学級・学習集団づくりについて】 ・安心できる居場所づくり ・学習規律・学習環境の整備	①児童朝会でいいところをカードに書いたり、伝えあったりする(毎週水曜日) ②考えを持つ時間を設定し、机間指導の中で肯定評価を行い、自信をもって発表することができるようにする。話の聞き方やいろいろな考えに触れるよさを感じることができ声掛けを行う。 ③学習の中で児童の言動でよかったところは肯定評価を行い、振り返りで共有する	○QU2回目児童アンケート「友達から自分は認められている」の肯定的回答80%以上 ○QU2回目の学習意欲のポイントを全国平均以上